



収穫が行われた9月、私たちはソアリエイロの様々なバージョンについて楽観的だ...

収穫レポート:ブドウの収穫は、一年間の労働および、気候要因にそのクオリティーを大方支配されるブドウ畑の継続的な手入れのピークともいえる作業だ。冬場の雨量は少なく、例年の平均値を下回った。1月は雨量が増え、平均気温も例年より高くなった。世界的にこの冬は暖かく、やや早く均一な芽吹きをもたらした。しかし、春は3、4、5月と特に多雨で寒く、植生サイクルのバラつきと遅れにつながった。開花は約2週間遅く、結実量は減少したが、それによって各ブドウ樹の生産配分が向上し、むしろクオリティーが高まる結果となった。

6月以降、降雨量は極端に減り、平均気温は上昇した。7月と8月は暑く非常に乾燥し、平均気温は高く降雨は実質的に皆無であった。9月も同様の傾向が続いたことで収穫時期が早まり、第一週目早々からの開始となった。それは、春に確認された遅れが明らかに回復したことを物語るものであった。

成熟期間中のこのような気候の特徴は、日中の高温と夜間の低温が入り替わるモンスーン・イ・メルガッソの微気候と関連している場合が多い。それが、ソアリエイロのスタイルを特徴づけるフレッシュで



フルーティーなアロマと、明瞭でありながらもバランスの良い酸を育むことを可能にするのだ。二年連続で完璧な収穫が得られることは珍しいが、2015年は異例の出来であり、2016年もまた同じ道を歩みうだろう。楽観主義を続けつつも、引き続きこのワインの成長をお報せしていこう。

ソアリエイロについてのさらなる情報は、私たちのバーチャルキンタでご覧いただけます。

www.soalheiro.com

では、また近いうちに!
ソアリエイロチーム
2016年10月

